

# テーマ I

## 板橋区の強みを活かした魅力ある住環境の形成



### 産学官民と連携した多様な人・世代が創る街

区の強みは、優れた交通アクセスという利便性と水や緑に恵まれた自然環境を活かし、活気ある商店街や大規模な住宅団地及び工業地、充実した医療施設を、地域で暮らす人々が作り上げていることです。

こういった区の強みを継承しつつ、すべての人が暮らしやすい地域社会の実現をめざすユニバーサルデザインを推進し、環境、防災・減災等、多角的に包括した板橋区らしいスマートシティの構築を進め、低炭素社会の実現に向けた取り組みなど、今後新たな魅力を発信し、「ずっと住みたい」と感じることでできる板橋区独自の横断的な支援・施策を進めます。

### 実現のためのアプローチ

#### 「農（みのり）」と「緑（みどり）」に囲まれた住環境の推進

区は、「板橋区産業振興構想 2025」の基本目標の一つとして、「活力ある農業と大地の恵みを未来につなぎ、潤いある区民生活と都市空間を創出する」を掲げています。板橋農業によってこれまで培われてきた農業の技術や伝統・文化などを次代に継承し、豊かな都市生活につなげます。

水や緑に恵まれ、自然環境が豊かな環境を活かし、「農（みのり）」と「緑（みどり）」に囲まれ、やすらぎのある、住環境を推進します。

- ➡板橋農業の継承を担う新たな人材を育成する場づくり（農業体験学校の整備、農業公園の検討等）
- ➡板橋農業のあり方を付加価値や新しい価値の視点から見つめ直し、農業経営に新たな息吹の注入

## 産学官民連携による多世代が交流するまちづくりを進める場の形成

区内には多くの企業のほか、6つの大学が立地しており専門的知見・技術が集積するばかりでなく、多くの学生が暮らしています。区では、これらの高等教育機関と協定等を結び、地域づくりに取り組んでいます。

今後は、各教育機関の専門分野に合わせて、人材育成、地域防災や予防医療、健康長寿、子育て、高齢者福祉等の取り組みを産学官民による連携体制で取り組みます。

- ➡産学官民連携によるまちづくり活動の充実
- ➡多世代交流を目的とした体制づくり・場づくりのフォロ一体制の検討

## 企業とのパートナーシップによる魅力的な都市空間・住環境の形成

魅力的な“住まい”や“住環境”を形成していくためには、行政のみならず民間企業等の柔軟なアイデアを取り入れ、実現していくことが重要です。

区は、景観や環境、子育て部門、高齢者福祉、医療・福祉部門等の各分野において、民間企業等の提案を募集し、企業とのパートナーシップを持ち、人と人のつながりを活かし、魅力的な都市空間・住環境の形成に取り組めます。

また、優良な都市空間・住まいを提供する民間企業等に対し独自の表彰制度など、その活動を応援します。

- ➡住宅地・住環境の向上を目的とした、いたばし住まいのアフターの創設（景観部門、省エネルギー部門、子育て部門、高齢者福祉部門等）の検討
- ➡住宅市場の活性化・優良な住宅の提供を目的とした、いたばし住宅コンペティションの創設の検討

### コラム 1

#### 公的住宅民間企業とのコラボの例

近年、民間企業の柔軟なアイデアにより、既存住宅ストックの魅力向上・再生や、住宅以外の建物を住宅に転用するリノベーションが話題となっています。区内の例では、URと無印良品による高島平団地のリノベーション住宅があります。



## テーマⅡ

### 若者が住んでみたいと感じる住環境の形成



#### 多様化する若者のライフスタイルを叶える住まいの充実

若い世代の新しいライフスタイルに合わせて、多様な住環境のニーズが生まれており、住宅市場の変化へとつながっています。

都心部へのアクセスに優れながら、自然環境等が豊かに残されている区の特徴を活かして、多様化する若者のライフスタイルを演出する住まい方を実現できるように住環境整備を進めます。

#### 実現のためのアプローチ

##### 🏠 未来を切り拓く若者を応援するまち

学生や新社会人等にとって、住まいにかかる費用は生活に大きな影響をもたらします。

都心部へのアクセスが良い区の立地を活かして、新たな生活を始める若者や学生、新社会人等の住まいの支援に取り組み、未来を切り拓く若者を応援します。

- ➡ 空き家・空き店舗の活用による住宅供給支援の検討
- ➡ 区内不動産団体と連携して、安価な賃貸住宅を、若者向けに情報提供
- ➡ 区内の大学入学説明会時に、パンフレット等で区内の安価な賃貸住宅の情報提供